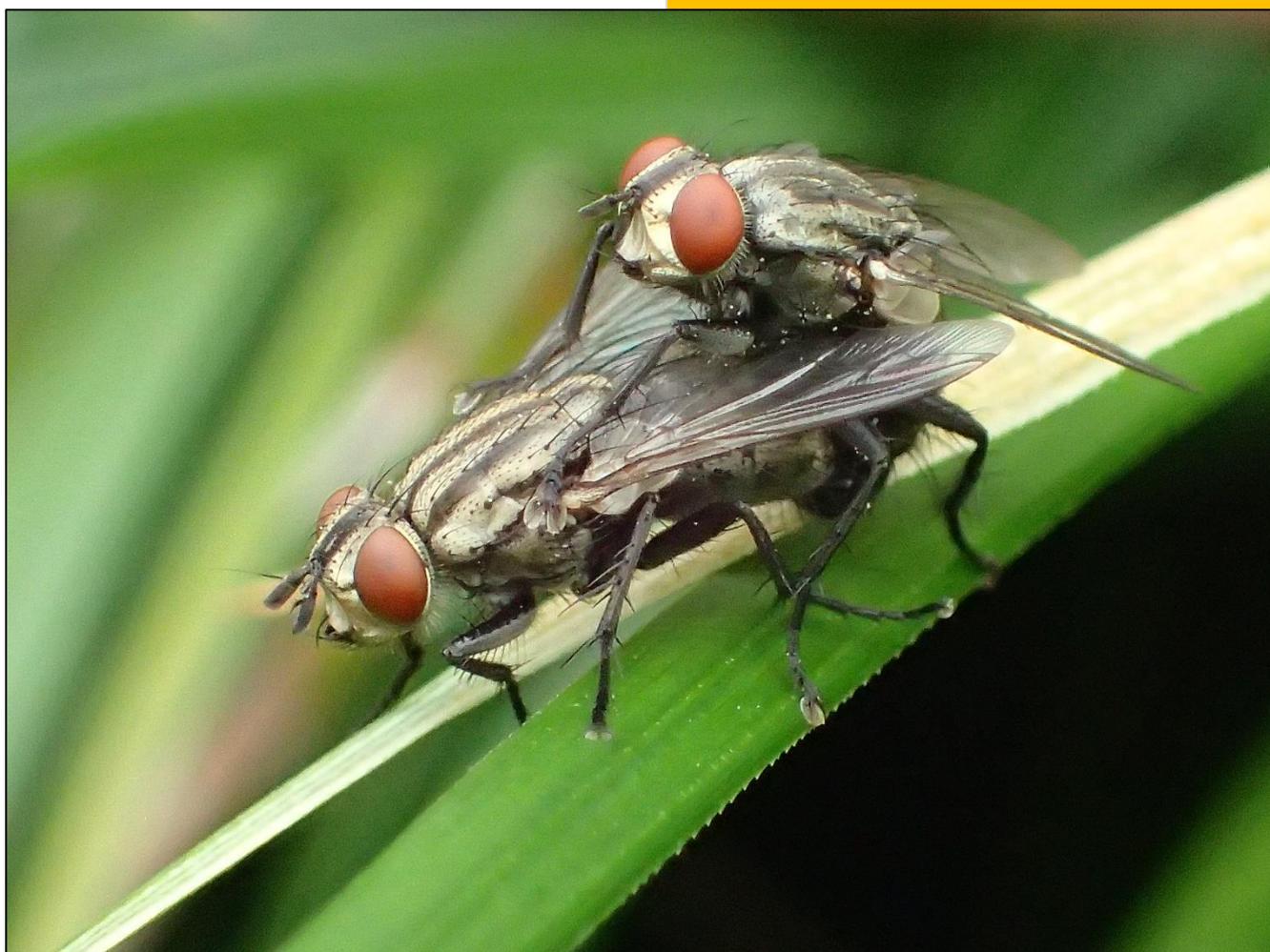


ハエのなかまたち



京都府保健環境研究所

環境衛生課

はじめに

ハエと聞いて皆さんはどんなイメージを持つでしょうか。「汚い」、「うっとおしい」、「気持ち悪い」。おそらくこうした悪いイメージが浮かぶのではないのでしょうか。

ハエは昆虫の中でも種類の多いグループで、日本からは約 5000 種以上ものハエが見つかっています。その中には綺麗なハエや格好良いハエ、どことなく愛嬌のあるハエなども含まれています。

この資料では色々なハエを写真で紹介します。



目次

はじめに.....	1
目次.....	2~5
八工の体.....	6~8
八工の分類.....	9~10
カのなかま.....	11
①カ科.....	12
②ガガンボ科.....	13
③ガガンボダマシ科.....	14~16
④カバ工科.....	17
⑤キノコバ工科.....	18
⑥クロキノコバ工科.....	19~21
⑦ケバ工科.....	22~24
⑧コシボソガガンボ科.....	25
⑨タマバ工科.....	26~27
⑩チョウバ工科.....	28
⑪ニセケバ工科.....	29
⑫ヌカカ科.....	30

⑬ヒメガガンボ科	31～32
⑭ブユ科	33
⑮ユスリカ科	34～35
アブのなかま	36
①アシナガバエ科	37～38
②アブ科	39
③オドリバエ科	40～41
④クサアブ科	42
⑤シギアブ科	43～44
⑥ミスアブ科	45～46
⑦ムシヒキアブ科	47～48
ハエのなかま	49
①イエバエ科	50～51
②キモグリバエ科	52～54
③クロコバエ科	55
④クロツヤバエ科	56～57
⑤クロバエ科	58～63

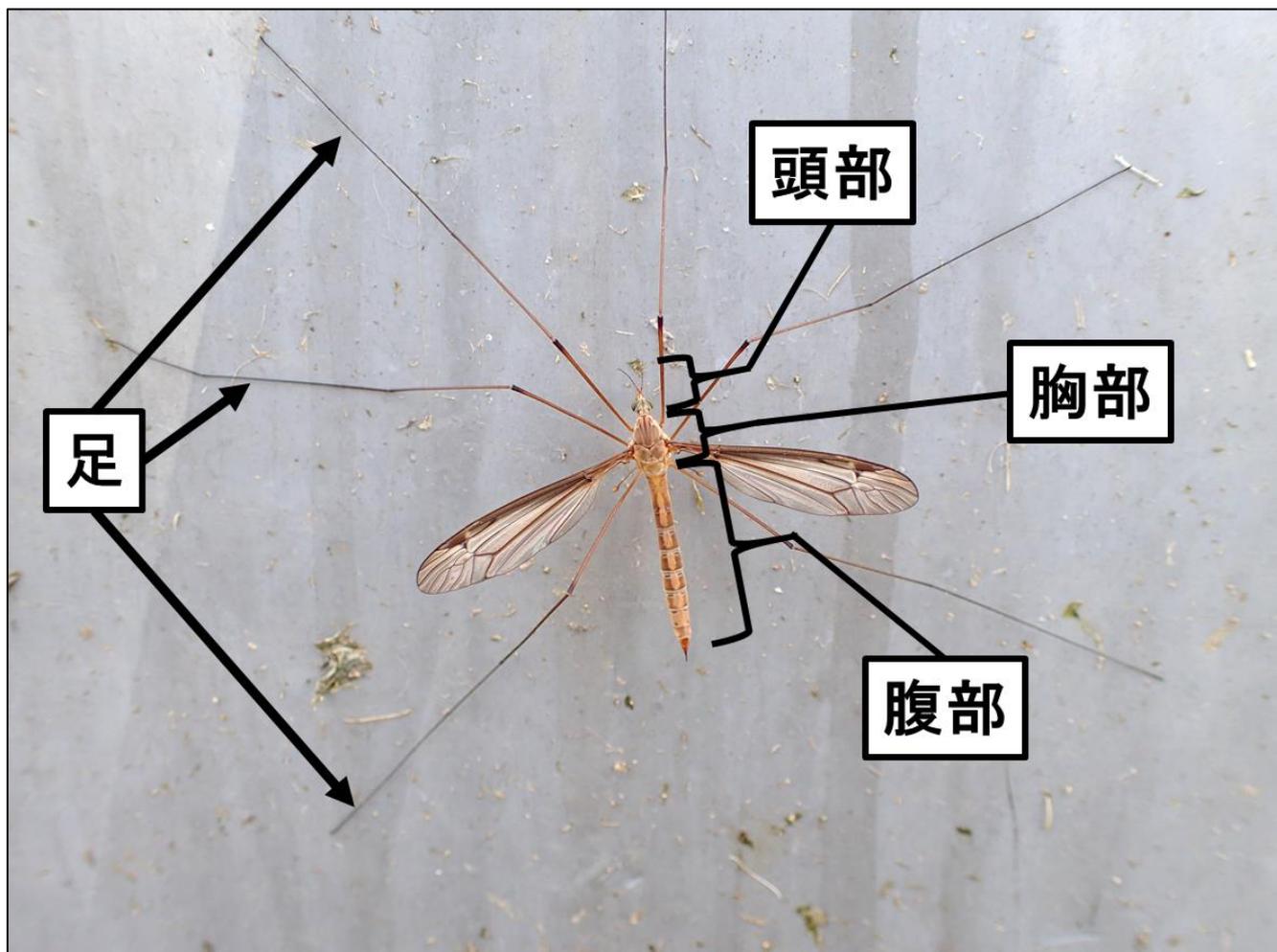
⑥シマバ工科.....	64～65
⑦ショウジョウバ工科.....	66～70
⑧ツヤホソバ工科.....	71
⑨デガシラバ工科.....	72
⑩トゲアシモグリバ工科.....	73
⑪トゲハネバ工科.....	74
⑫ナガスヤセバ工科.....	75
⑬ニクバ工科.....	76～78
⑭ノミバ工科.....	79
⑮ハナアブ科.....	80～81
⑯ハナバ工科.....	82～83
⑰ハネフリバ工科.....	84
⑱ハマベバ工科.....	85
⑲ヒメイエバ工科.....	86～90
⑳ヒメホソバ工科.....	91
㉑ヒロクチバ工科.....	92～93
㉒フンコバ工科.....	94

②③フンバ工科.....	95
②④ベッコウバ工科.....	96~97
②⑤ミギワバ工科.....	98
②⑥ミバ工科.....	99
②⑦ヤドリバ工科.....	100~101
②⑧ヤリバ工科.....	102
おわりに.....	103
参考文献.....	103

ハエの体

ハエの体は、「頭部」、「胸部」、「腹部」の3つからなります。

「頭部」には眼、触覚、口があります。胸部は前胸、中胸、後胸の3つからなり、それぞれに左右1本ずつ足があります。ハエは中胸が大きく発達し、胸部の大部分を占めるため、前胸や後胸はあまり目立ちません。



コラム1 胸部と腹部の見分け方

「胸部と腹部はどうやって見分けるんですか?」。私が生き物の名前を調べるようになって、先生に最初にした質問です。ここでつまづいたのは私だけかもしれませんが、一応答えをお教えしましょう。足がついているのが胸部です。

一般的に昆虫とは次の3つの特徴を持つ生き物であると言われています。

- ①体が「頭部」と「胸部」と「腹部」に分かれる。
- ②足は左右3本ずつで計6本。
- ③翅^{はね}は左右2枚ずつで計4枚。

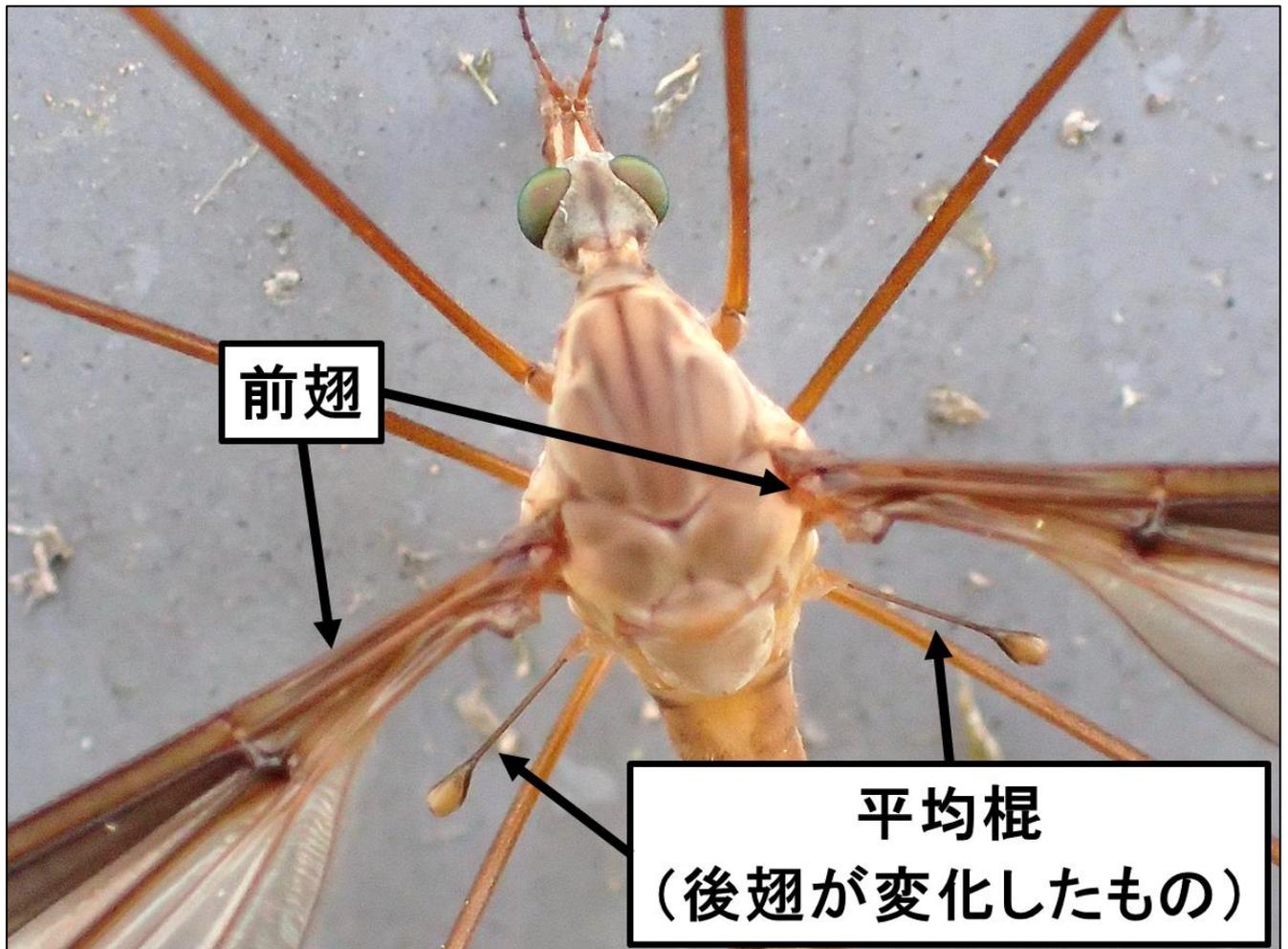
下に2枚の写真を用意しました。左はチョウ、右はハエです。①～③の3つの特徴に注目して下の2枚の写真を見比べてみてください。ハエと他の昆虫で大きな違いがあるのですが、見破れるでしょうか？



コラム2 生き物の名前

上の写真のチョウは「ジャノメチョウ」のなかまです。漢字で書くと、「蛇の眼蝶」となり、その名のとおり、翅に蛇の眼のような模様があるのが特徴的です。生き物の名前には、色々な意味が込められています。自分で捕まえたり見つけた生き物については、その名前の意味を調べてみるのも良いかもしれませんね。

答えは「翅の枚数」です。ハエの翅は2枚しかないのです。では、残り2枚の翅はどうなったのでしょうか？



体の前の方についている翅を「前翅」、体の後ろの方についている翅を「後翅」と言いますが、ハエの場合、後翅がマッチ棒のような突起に変化していることが分かります。この突起を「平均棍」と言い、これはハエだけが持っているものなので、ハエと他の昆虫を見分けるのに役立ちます。

コラム3 翅のないハエ

何事も例外というものがあります。世の中には翅のないハエがいます。飛べないので地面を歩いていたりするのですが、あまり見かけません。

ハエの分類

先ほどから「ハエ」と呼んでいた下の写真の生き物ですが、皆さんの中には、「ハエじゃなくてガガンボじゃないの？」と違和感を覚えていた方もおられたでしょう。私がどういう意味でこの生き物を「ハエ」と呼んでいたのか。まずはそこから説明します。



ハエに限らず、生き物は「^{かい}界・^{もん}門・^{こう}綱・^{もく}目・^か科・^{そく}属・^{しゅ}種」からなる階級に基づく分類がされていて、界から種へと下の階級に進むにつれ、体の形などが似たグループがまとめられています。

前のページのハエを階級に基づいて分類すると、下のようになります。



分類階級	左の写真のハエ
界	動物界
門	節足動物門
綱	昆虫綱
目	ハエ
科	ガガンボ

私が「ハエ」と呼んでいたのは正しくは「ハエ目」のことであり、「ガガンボ」だと思った方は、「ハエ目」の中でも「ガガンボ科」であることまで分かっていたということになりますね。

さて、この資料は、「一口にハエと言っても実はものすごくたくさんの種類がいる」ということをお伝えしようと思って作ったのですが、実際のところ、ハエの分類はとても難しいです。図鑑や検索表と呼ばれる様々な資料を集めて、それなりに精度の良い顕微鏡で、体の毛や翅など細かいところを確認する必要があります。また、属や種まで分類しようと思うと、専門家の方に依頼をしなければならぬことも少なくありません。

そこで、次のページからは、「ハエ目」を大きく、①力のなかま、②アブのなかま、③ハエのなかまの3つに分けて、それぞれ科のレベルで紹介します。